

総人口25,000人の維持。この主要指標を達成する ために、さまざまな施策(事業)を展開していきます。 以下、○=最重点施策、●=重点施策です。



子どもは未来の担い手(8か月児健診)

子どもを産み育てやす

ちづくりを担う子どもたちを み、若い世代が住みたいと 少子化が進む中、今後のま



運動で健康な体づくり(ウオーキング教室)

高齢化が進行する中、高齢者 つまでも地域で生き生き 祉の充実

会場いっぱいににぎわいを見せる産業祭

業や商工業を振興するとともため、町の主要産業である農雇用やにぎわいを創出する に、新規の 産業団地の 造成を



子どもの元気は未来のチカラ

「豊かな心」と「確かな学力」

を育むとともに、町民の文化活



自治会主催の防災訓練(6区自治会)

「防災・減災」のまちづくり 地域における防災力を向上 「自助・共助・公助」による を進



図書館や公民館、役場企画課などに配置予定ですので、ご覧ください。



町では、新たな時代の町の指針となる「邑楽町第六次総合計画」を策定しました。 地域の事情や社会経済情勢の変化に的確に対応しながら、 町民誰もが未来に向かって夢や希望の持てる、

が持てる「やさしさと活気のもが未来に向かって夢と希望

快適で魅力あふれるまちづくりを進めます。

問合先▶役場企画課企画政策推進係 47-5009

度)」、その基本構想に基づきく「基本構想(平成28~37年での目標や将来像を描今回の計画は、目指すまち 計画の構成と期間 き年描ち

まちの将来像

るよう、まちづくり 町民が住みよ ら、」を将来像に掲げて全てのと活気の調和したまち、おう 町では、これまで「やさしさ 町と実感でき を推進

をさらに高め、町に暮らすづくりを進め、邑楽町の魅 は、これまでの考え方を受け 継ぎながら町民と協働のまち 「邑楽町第六次総合計画」で の魅力

います。 成8~32年度)」で構成されて

PDCAサイクルの確立

基本計画に示された具体的

年度進捗状況を把握します

るま

施策を効果的に実施するため に、毎年度の事業計で などの指針になる「実施計 ング方式で毎 **門、予算** 。実施計

画は、PDCAサイクル(計画 3か年のロ ・実施→評価→改善)に則り サイクルを実施すること と改善を毎年

事業に向き合い検証し、より効果的に



取り組みが不可欠です。邑楽町に住む町民一人一 人が「邑楽町を創る」という気概を持ち、心を一つに して、まちづくりを進めていくことが大切です。

